

「道の駅」の防災に関する 駅長アンケート分析と理論的考察

京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻
交通行動システム分野(藤井聡研究室)
博士課程1年生 田中皓介

1. 道の駅の災害対応事例紹介と防災拠点機能
2. 利用者アンケートから見る防災拠点としての可能性—利用者の「道の駅らしさ」アンケートを用いて—
3. 駅長アンケートから見る防災拠点としての可能性
4. 駅長アンケートから見る防災拠点としての課題
5. まとめ

東日本大震災では、

18の道の駅で、震災直後から救援支援活動が行われた被災市民の受け入れ、宿泊、飲食無料(または割引)提供、炊き出しなどの他、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊・ボランティアの後方支援拠点として

•青森県

「さんのへ」(三戸町)、「いまべつ」(今別町)、「なんごう」(八戸市)、「とわだ」(十和田市)

•岩手県

「のだ」(野田村)、「遠野風の丘」(遠野市)、「巖視溪」(一関市)、「くじ」(久慈市)

•宮城県

「津山」(登米市)、「米山」(登米市)、「おおさと」(大郷町)、「あ・ら・伊達な道の駅」(大崎市)、「上品の郷」(石巻市)

•福島県

「たじま」(南会津町)、「喜多の郷」(喜多方市)、「はなわ」(塙町)、「尾瀬街道みしま宿」(三島町)、「しもごう」(下郷町)

「道の駅」の災害対応機能発祥のきっかけ

- 新潟県中越地震（2004年10月）で、被災者の多くが地域内の「道の駅」に駆け込み避難した。
- 「道の駅」側は駐車場への仮設住宅の設置、道路情報や被災情報の発信拠点として被災者を積極的に受け入れた。
- 「道の駅」と地域住民との連携、行政との連携、「道の駅」同士の連携等を図ることで、「道の駅」の防災拠点化が強化される。

- 「道の駅」の防災機能は、新潟県中越地震をきっかけとして、利用者と「道の駅」との助け合いの関係性から被災者の「駆け込み寺」のように発生した。
- 行政がこの機能推進を行うなか、東日本大震災では、被災地の「道の駅」は防災拠点としての機能を発揮。

2. 利用者アンケートから見る防災拠点としての可能性 ルートプレス読者の声“fresh Voice”から「道の駅」の 防災機能に関する投稿を抽出、分析

【データ抽出方法】

対象:「道21世紀新聞 ルートプレス」の読者投稿データベース“fresh Voice”

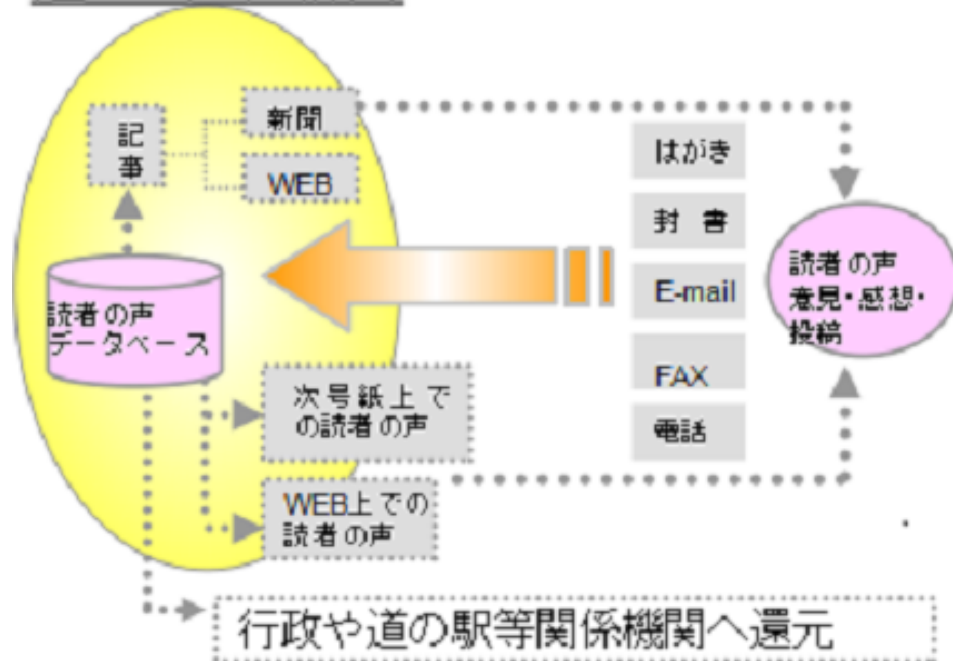
抽出データ年:2005年から2014年

抽出標本数:47,269投稿

道 21 世紀新聞

読 者

“fresh Voice”内容の構成



新聞について意見・・・ 52.7%
道の駅に関する意見・・・ 23.8%
道路に関する意見・・・ 9.4%
自然災害について・・・ 4.0%
旅に関する意見・・・ 3.8%
地域に関する意見・・・ 1.9%
自然・環境保全・・・ 1.9%
その他・・・ 2.6%

『道21世紀新聞 ルートプレス』読者投稿の一例

第37号道の駅の『情報発信に関するアンケート』回答用紙

Q1: ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
 ① その他 (商品の陳列価格)
 ② 1) a. 駅名 上品の豚(宮城)
 b. 理由 大きな豚(カニ)が2つ 豚の3/4
 2) a. 駅名 はんぱん(福島)
 b. 理由 近隣の観光案内のパンフレット
 3) a. 駅名 (不明)
 b. 理由 (不明)

Q3: 1) a. 駅名 (不明)
 b. 理由 (不明)
 2) a. 駅名 (不明)
 b. 理由 (不明)
 3) a. 駅名 (不明)
 b. 理由 (不明)

Q4: ① ②
 Q5: 新開で各地の道の駅アペールは良いと思う

Q6: a) 山形 県 b) (駅名) 天童市森林情報館
 朝日〜天童

お名前: 藤原 真由美
 郵便番号: 〒990-0000
 住所: 福島県福島市...
 お電話番号: 090-...
 性別: 女性 ④ 48歳

通欄欄 (その他ご意見等がありましたらご記入ください)
 観光地で働いているので、道の駅に行くとお土産類を視察します。

『お米の国から〜炊きたてご飯』希望
 〒013-0215 秋田県横手市
 TEL. 0182-...
 女 34才 主婦 ドライブと買い物
 道の駅 雁の里
 巨大地震に備え物流Net発進
 ⑩ 独身時代、夫と一緒に

私の運転で福島県の
 浜通りをドライブしました。
 いつの日かまた福島を
 ドライブしたいです



お土産
 道の駅に
 行くたびに
 喜ばせてもら
 います。また
 来てくださ
 ります。楽し
 みにしています。

炊きたてご飯

家族・友人と味わいたいです!
 フォトプレゼントに欲しい
 日ロシク♥お願ひします

届くと、Happyです!!

希望の名
 『お米の国から〜炊きたてご飯』

パズルの答え
 ミチノエキデタノシム
 ① ...
 ② 〒013-0501 秋田県横手市
 ③ 0182-...
 ④ 女
 ⑤ 主婦
 ⑥ 45
 ⑦ ドライブ(乗役)・ゲーテ
 ニング
 ⑧ 道の駅 fat.炊きたて
 ⑨ 日本風景佳道
 日本人のみならず外国人からも
 好評です。行ってみたいと思
 います。
 ⑩ 今回、初めて読みました。
 とても興味深い記事がたくさんあり、
 読みたいところになる新聞でね。

① 氏名
 ② 〒956-0035 新潟県新潟市
 ③ 0250-...
 ④ 女
 ⑤ 71才
 ⑥ 主婦
 ⑦ 読書、散歩
 ⑧ 道の駅 にあいつ、お、世
 ⑨ スイスに学ぶ 国防
 ⑩ ②の他に、子育て、水環境と
 食糧備蓄で飢えをい、戦時中
 出陣中の子供たち、
 国民一人一人が、愛国心を
 忘れず、少人数で、朝、夜、
 毎日、お米の国から〜炊きたて
 ご飯を食べてほしいと思
 っています。

<クロスワードパズルの答え>
 『ミチノエキデタノシム』

① ...
 ② 〒088-2336 北海道十勝郡標茶町
 ③ 015-1-...
 ④ 女
 ⑤ 主婦
 ⑥ 34才
 ⑦ 赤い物・パン作り・読書
 ⑧ 道の駅 藤岡温泉
 ⑨ 道の駅文庫←本が好きなので。
 ⑩ 初めて手に取りました。たまに新
 婚旅行先で寄った道の駅が載っ
 けてうれしくなりました。

山梨・丹波山温泉のめい湯山
 ① ...子
 ② 〒951-8066 新潟市
 ③ TEL 025-...
 ④ 女性
 ⑤ 65才
 ⑥ 主婦
 ⑦ ドライブ
 ⑧ 道の駅 豊栄
 ⑨ 列車保全への課題
 ⑩ 感想
 トイレのきれいなこと
 によって、毎週必ず清潔に保た
 清潔な車の方こそ一生懸命で働いて
 いると、ぜひぜひ読んで欲しい。我が国の美点
 だと思う。

道の駅の防災拠点化への期待は大きい

①災害時こそ人と人とのぬくもりの場が重要

(投稿の一例)

- 中越地震で道のが避難所になったことを初めて知り、その役割の大きさを実感し駅ました。辛い時こそ、人のぬくもりですね・・・
(京都府、女性、32歳、会社員、2005年)
- 中越地震で道の駅が避難所になり、灯りをたよりに皆様方が集まってきて、お店の方々の親切な態度に感銘した
(愛知県、女性、70歳、主婦、2005年)
- 特産物や観光名所等の情報を得ることができる道の駅。防災拠点の意味も含め、街中のも道の駅があればなァ(広島県、女性32歳、主婦)

「道の駅」は被災時の不安を和らげるぬくもりの場

②災害発生時の「道の駅」の情報発信機能に期待する投稿がもっとも多く寄せられた

- 出先の土地勘のないところで地震にあったら、道の駅の情報だけが頼りになります(愛知県、49歳、主婦)
- 道の駅は各地にあるので、災害時及び防災情報発信基地として利用していくと良いと思います(滋賀県、男性、37歳、会社員)
- 中越地震で余儀なく全壊で今回仮設住宅に入居して1年。本当に皆さんから温かい支援を頂き感謝しています「道の駅」での情報提供お願いします。(新潟県、女性、37歳、会社員)
- 日本人は災害に対する危機感が薄いと思います。私も含め。でも、道の駅に防災情報があると危機感も自然に芽生えてくるのではないか(青森県、女性、37歳、家事手伝い)
- 災害時には常用物品の準備、AED設置、情報収集と連絡、伝達はどうなっているのか分からない面がある。大切なことであり、その備えの拠点になって欲しい(京都府、男性、60歳、会情報伝達社員)
- 防災時の情報発信基地としての設備を整えておくなど、ターミナルとしてのエリアを確保できるようにしておくべき(岩手県、男性、49歳、公務員)

防災拠点化で利用者に望まれてるのは情報発信機能

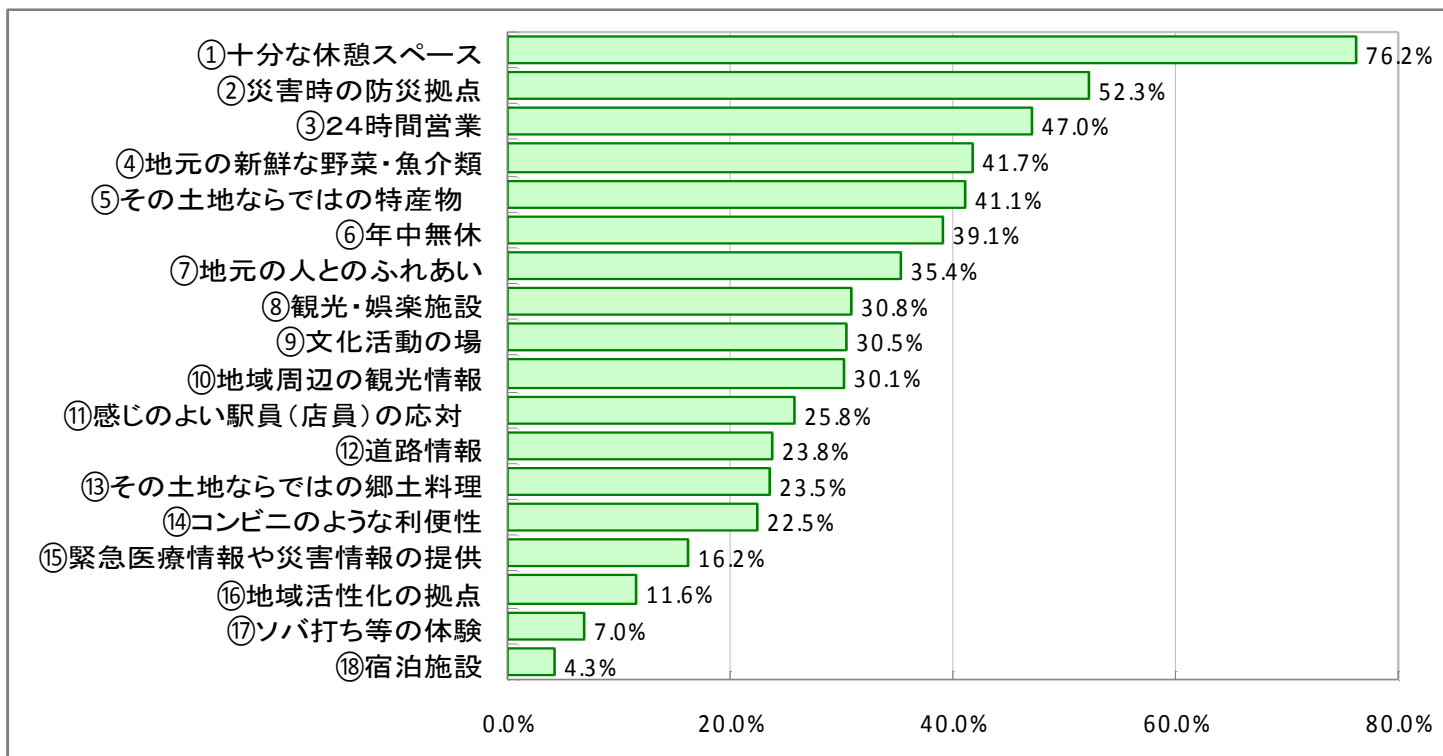
③いつ起こるか分からない災害。一層の防災拠点化に期待
道の駅だけでなく、いろいろな施設に災害活動拠点が必要。(新潟県、女性26歳、主婦)

- いつ地震がおきてもおかしくありません。道の駅だけでなく、色々な施設に災害活動拠点が必要(新潟県、女性、26歳、主婦)
- 災害は今は大変身近で、何時起きてもおかしくない。防災拠点としての役割はとてもいいこと(青森県、男性、40歳、会社員)
- 地域の防災拠点としての役割。通りかかって先に進めなくなったドライバーに安心を提供できることを強く望みます。(埼玉県、男性、42歳、会社員)
- 全ての道の駅が防災拠点になったらとても心強い味方になります。(岐阜県、女性、50歳、主婦)
- 知らない土地に行けば、道の駅が頼り。災害が起きた場合の避難や迂回路を表示してくれること期待(岩手県・女性・50歳)

利用者は「防災拠点化をさらに進めるべき」と感じている。

利用者が「道の駅」求める機能

利用者は「道の駅」の防災機能に大きな期待



資料:道21世紀新聞35号読者アンケート結果(2012年11月実施、513サンプル)

東日本大震災後、“災害時の防災拠点機能”は利用者の期待する「道の駅」の機能第2位。

3. 駅長アンケートから見る防災拠点としての可能性

実際の「道の駅」の防災機能に関する事例を**駅長アンケート**より紹介する

【アンケート概要】

- 調査名：道の駅の防災に関するアンケート
- 調査対象：平成24年8月現在登録済の道の駅の駅長
- 調査実施時期：平成24年8月～10月
- 回収標本：727駅（回収率：73.7%）
 - 道の駅名が無記入のアンケート票（5駅）は集計から除外した

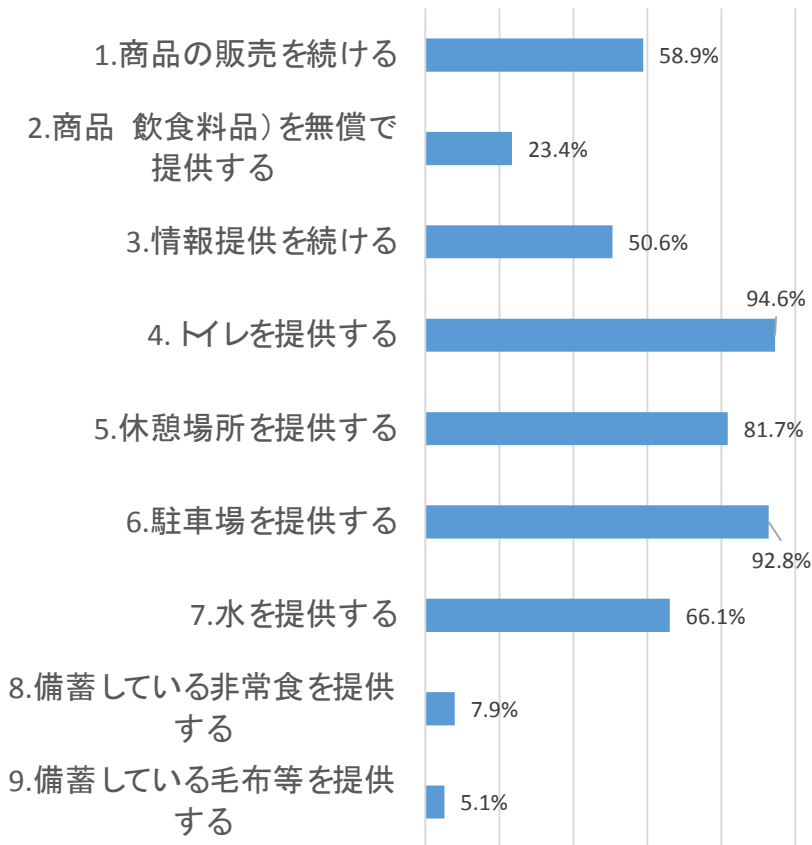
道の駅の防災機能の整備・活用に関する意見

- **公共性の強い**道の駅では、防災への対応が出来ることが望ましいと考えます。(茨城県「しもつま」)
- 国道1号線という立地にもかかわらず、ハザードマップに入っている為、**避難所の役割を果たせず残念**に思います。(静岡県「宇津の谷峠」)
- 万が一災害が発生した際は、**出来る限り全て**の人を受け入れ、提供できるものは**全て提供したい**。(愛知県「立田ふれあいの里」)
- 当駅のように**立地条件等**により、防災拠点となることが**難しい**駅でも、**何か出来る**ことがあると考えています。(愛知県「あかばねロコステーション」)

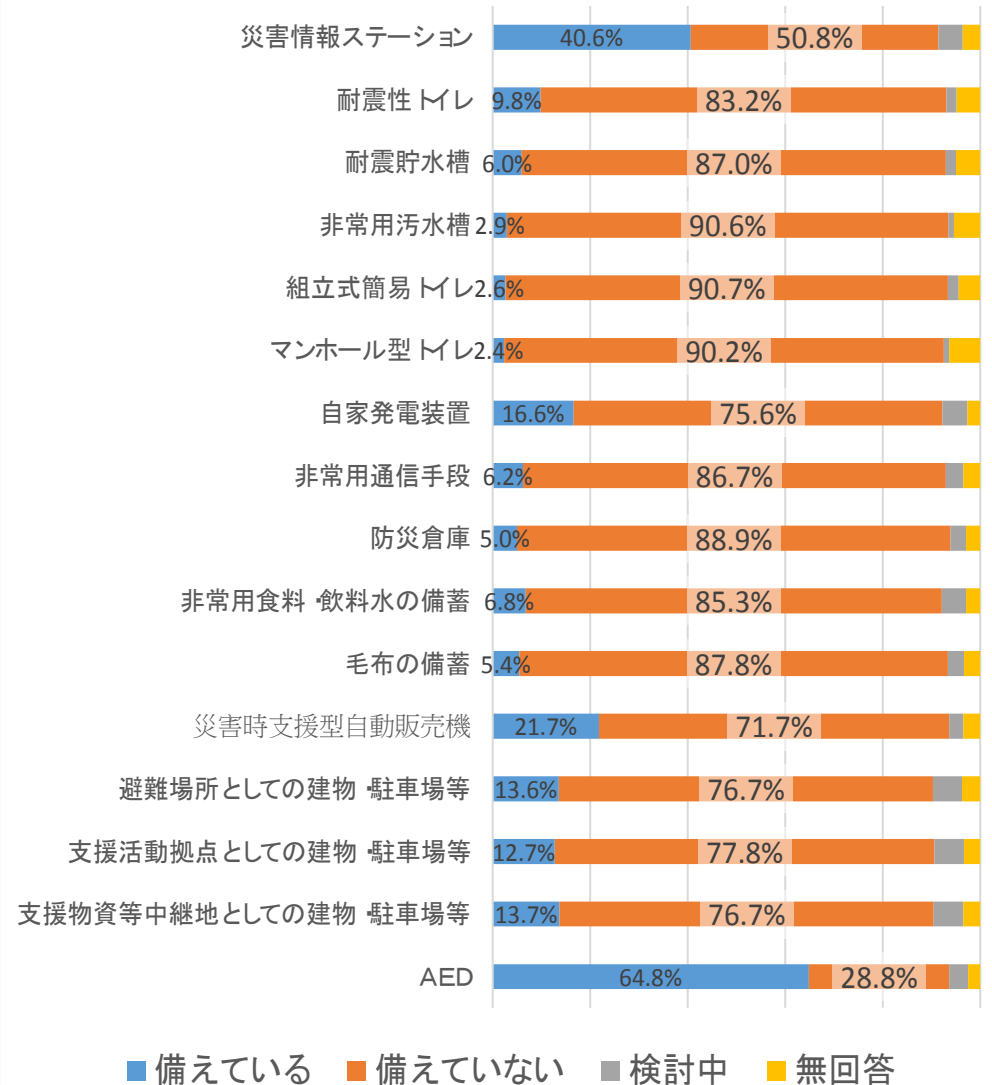
防災の担い手であろうとする強い想いが感じられる

〔駅長アンケート結果の概要〕

避難者に対して提供できるサービス



防災機能の設置状況



全国43(6.0%)の道の駅で具備している防災機能を 実際に活用した経験あり

- 夜間なだれで通行止め(中略)となった時、地元のラジオと連携し、当道の駅を24時間開けることを放送して、仮眠が取れる情報を流した(山形県「いいで」)
- 駐車場の一画をバリケードと立てカンバンによってスペースを確保。防災・ドクターヘリの受け入れた。(秋田県「かみこあに」)
- 2011年9月豪雨被害により道が分断され、駐車場は色々な中継地点として活用、隣接して同じ会社の宿泊施設があるので、避難所としても活用。(奈良県「吉野路大塔」)
- 中越地震の際、自家発電設備を活用し、停電時助かった。又、半年くらい避難所になった。(新潟県「クロステン十日町」)
- 中越大震災において地区の避難指示世帯の一時避難所となった(1ヶ月)。地区の救援物資の中継基地となった。(新潟県「瀬替えの郷せんた」)

全国51(7.1%)の道の駅で、災害発生時に他の道の駅と連携して、物品・情報・機材あるいは人材を融通した。

- 大津波で全壊した直売所を再開するのに、**県内の道の駅より多大なる物資、備品等、支援を受け、本当に助かった。**それがなかったら再開できなかったと思う。(宮城県「大谷海岸」)
- 津波の被害に合った道の駅「よつくら港」に、砂の片付けや、瓦礫の撤去に行った。近くの避難所に炊き出しも行った。(福島県「裏磐梯」)
- **大分県が、集中豪雨で被災した時、救援物資の中継として道の駅「かまえ」に、手袋、タオル、雑巾を送付した**(岐阜県「加子母」)
- 「九州北部豪雨災害」の時には情報交換しました。**大分道の駅分科会は、常時、会合を行っていますので、会合に参加している機関の駅長同士が協力し合いました。**(大分県「くにさき」)

道の駅の防災機能の整備・活用に関する意見

- **公共性の強い**道の駅では、防災への対応が出来ることが望ましいと考えます。(茨城県「しもつま」)
- 国道1号線という立地にもかかわらず、ハザードマップに入っている為、**避難所の役割を果たせず残念**に思います。(静岡県「宇津の谷峠」)
- 万が一災害が発生した際は、**出来る限り全て**の人を受け入れ、提供できるものは**全て提供したい**。(愛知県「立田ふれあいの里」)
- 当駅のように**立地条件等**により、防災拠点となることが**難しい**駅でも、**何か出来る**ことがあると考えています。(愛知県「あかばねロコステーション」)

防災の担い手であろうとする強い想いが感じられる

道の駅の防災機能の整備・活用に関する意見

- **公共性の強い**道の駅では、防災への対応が出来ることが望ましいと考えます。(茨城県「しもつま」)
- 国道1号線という立地にもかかわらず、ハザードマップに入っている為、**避難所の役割を果たせず残念**に思います。(静岡県「宇津の谷峠」)
- 万が一災害が発生した際は、**出来る限り全て**の人を受け入れ、提供できるものは**全て提供したい**。(愛知県「立田ふれあいの里」)
- 当駅のように**立地条件等**により、防災拠点となることが**難しい**駅でも、**何か出来る**ことがあると考えています。(愛知県「あかばねロコステーション」)

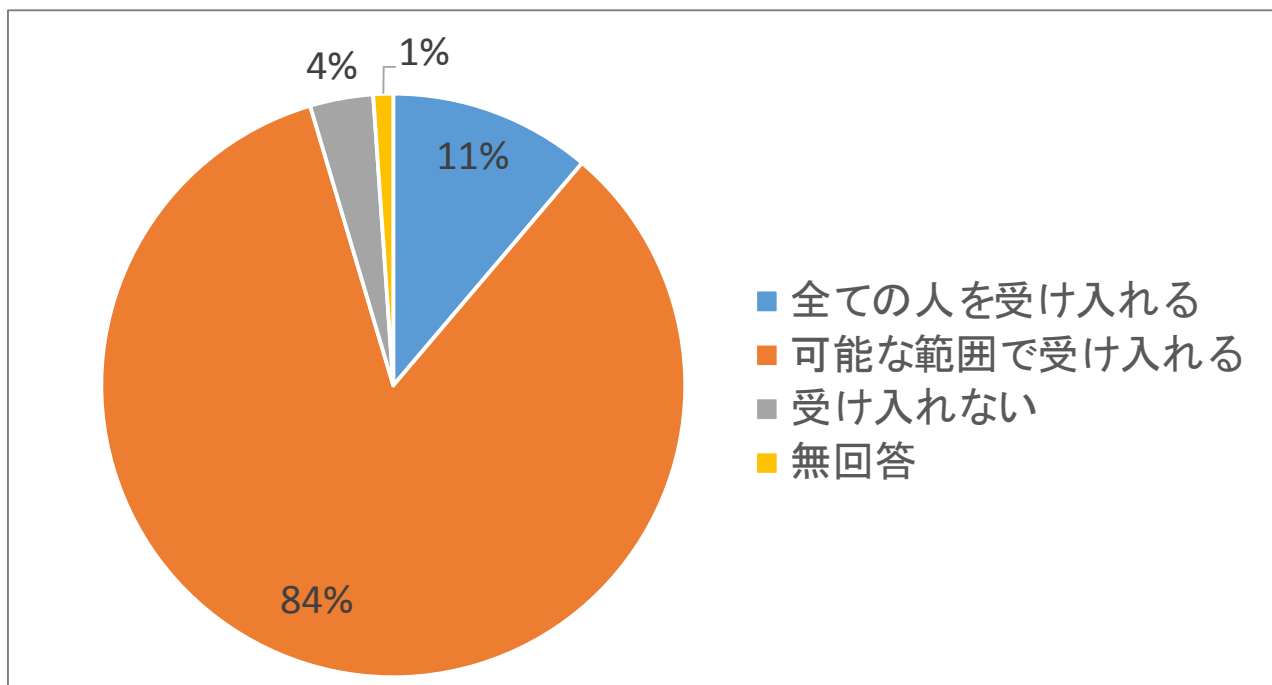
防災の担い手であろうとする強い想いが感じられる

道の駅の防災機能の整備・活用に関する意見

- **公共性の強い**道の駅では、防災への対応が出来ることが望ましいと考えます。(茨城県「しもつま」)
- 国道1号線という立地にもかかわらず、ハザードマップに入っている為、**避難所の役割を果たせず残念**に思います。(静岡県「宇津の谷峠」)
- 万が一災害が発生した際は、**出来る限り全て**の人を受け入れ、提供できるものは**全て提供したい**。(愛知県「立田ふれあいの里」)
- 当駅のように**立地条件等**により、防災拠点となることが**難しい**駅でも、**何か出来る**ことがあると考えています。(愛知県「あかばねロコステーション」)

防災の担い手であろうとする強い想いが感じられる

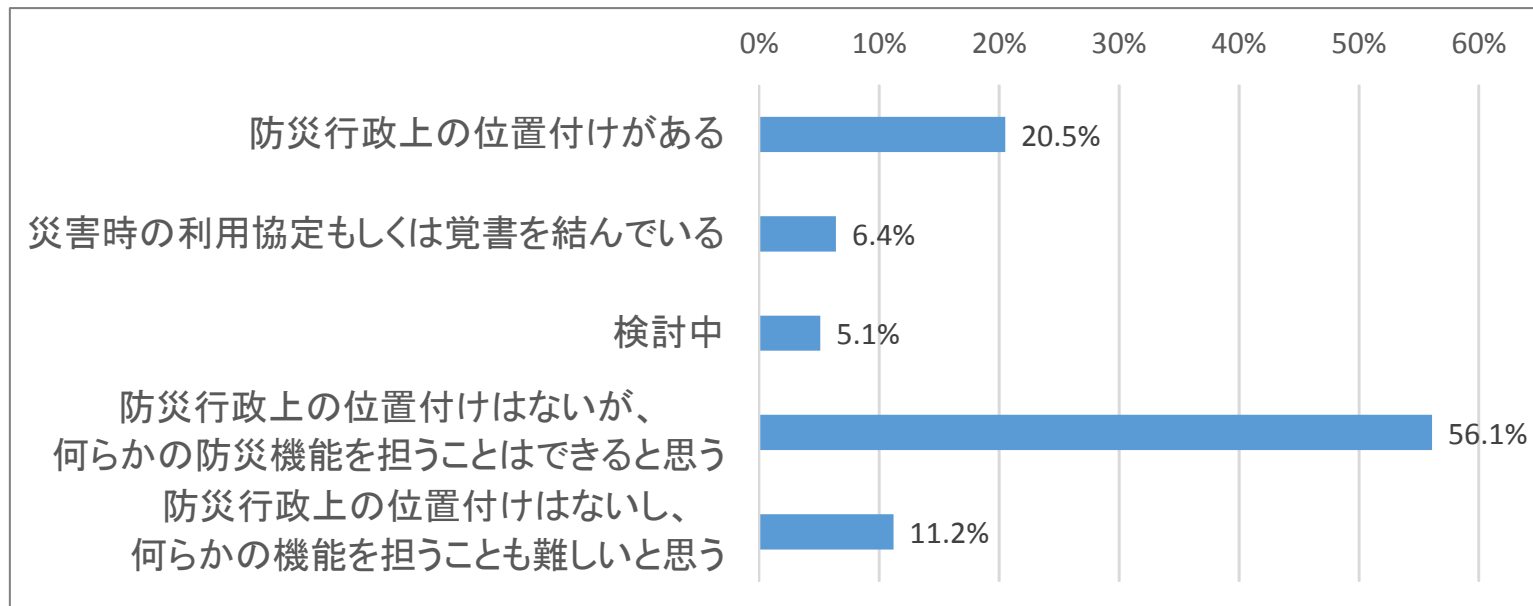
【問】営業時間中に災害が発生した際に、道の駅のお客様のほか、道路利用者や周辺の地域住民が避難してくることが予想されます。あなたの道の駅ではそれらの人々を受け入れますか。



※受け入れない理由としては、「津波浸水エリアのため危険である」といった地理的、物理的条件によるものが大半を占めている。

95%以上の道の駅で受け入れる意思がある

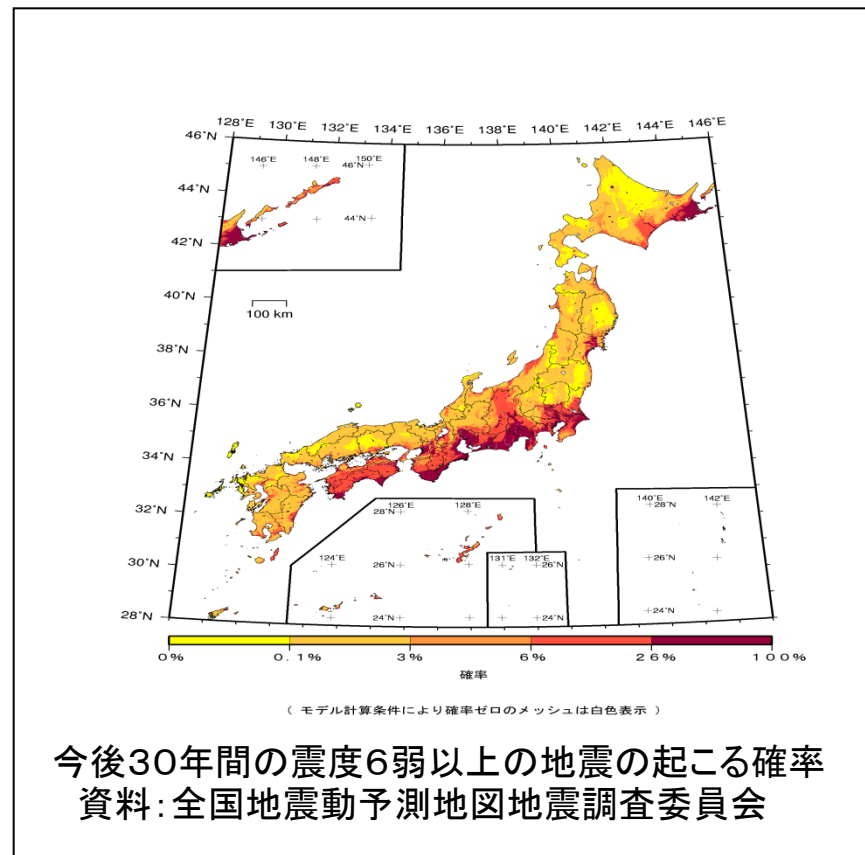
【問】あなたの道の駅では、地域防災計画への位置付けや、地域の避難所に指定されている等、防災行政上の何らかの位置付けがなされていますか。



572 (79.2%) の道の駅で、実際の位置付けがあるか、もしくは何らかの防災機能を担い得る

3. アンケートから見る防災拠点としての可能性

- 多くの道の駅には**防災拠点**たろうとする意思がある
- そのような道の駅が**全国に満遍なく**点在している



いっどこで起こるか分からない自然災害に対して、
有効な防災拠点となり得るポテンシャルを秘めている

制度上の課題（行政上の位置づけ）

※防災行政上の**規定、覚書等**があるのは**23.5%**の道の駅

•地域住民に関しては遠軽町の防災計画により示された避難場所があるが、町外からの不特定多数の来町者が避難できる場所は、**周知、整備等**されていない。

その中で認知度の高い道の駅は拠点となりえる要素は多分にあります。（北海道「まるせつぷ」）

•行政との協定もなく、災害発生したときの**駅長の権限・各経費の受け持ち先等、決まらない**まま進んでおり、いずれ整備が必要となる。（山形県「いいで」）

•駅が**どこまでの役割を果たすか**を明確にするべきだと思います。（島根県「湯の川」）

制度としての位置付けとその周知が十分とはいえない

5. まとめ

- 「道の駅」の防災機能は、被災者である住民・利用者と受け入れ側「道の駅」側との双方の**助け合いの**ところから、自然発生的に生まれた
- 新潟県中越地震から道の駅は防災拠点として活躍してきた
- 国としても**重点拠点**として「道の駅」の防災拠点化を整備し始めた
- 施設側には防災の役割を担おうとする**強い意思**がある
- 全国に**満遍なく点在する**「道の駅」は、災害常襲国である我が国において**防災拠点**としての高い可能性を秘めている

(課題)

- 防災拠点としての**制度上の明確な位置付け**と**住民・利用者への一層の周知**が必要